※記載例を参照の上、ご記入ください。

（様式第3号）

企業・団体名（ SMC㈱長野営業所 ）

# SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）【R5.11.30様式改定】

| | カテゴリ | チェック項目 | 取組レベル | 【非該当】の場合選択入力 | 【予定】の場合選択入力 | 具体的な取組<br>（県などの取得認証があれば、併せて記載）<br>（【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載） | 主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 人権・労働 | 【差別の禁止】<br>・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している | 基本 | | | 労務相談窓口を社内外に設置し、誰でも相談できるような体制を構築し従業員に周知しています。<br>全社員に行動規範教育を実施(eラーニング)済みです。 | | | | | 5.1<br>5.2<br>5.5 | | | 8.5<br>8.7<br>8.8 | | 10.2<br>10.3 | | | | | | 16.1<br>16.2<br>16.7 | |
| 2 | | 【ハラスメント禁止】<br>・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している | 基本 | | | 就業規則においてハラスメントを禁じ、労務相談窓口を社内外に設置し、誰でも相談できるような体制を構築し従業員に周知しています。<br>全社員に行動規範教育を実施(eラーニング)済みです。 | | | | | 5.1<br>5.2<br>5.5 | | | 8.5<br>8.8 | | | | | | | | 16.1 | |
| 3 | | 【労働時間】<br>・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる | 基本 | | | 時間外命令者と従業員側に対し時間外管理について36協定の内容を踏まえて教育を行っています。また、不正な行為が行われないようデータ等により監査を行っています。 | | | | | | | | 8.5<br>8.8 | | | | | | | | | |
| 4 | | 【外国人労働者】<br>・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している | 基本 | | | 「SMCグループ行動規範」に「従業員の人格尊重および差別の禁止」の明記し推進しています。 | | | | 4.4 | | | | 8.7<br>8.8 | | 10.2<br>10.3 | | | | | | | |
| 5 | | 【労働安全衛生】<br>・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる | 基本 | | | 安全衛生委員会の設置要件のある事業所では委員会活動を通じて、労働災害の撲滅について、活動を行っています。 | | | 3 | | | | | 8 | | | | | | | | | |
| 6 | | 【メンタルヘルス】<br>・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる | 基本 | | | ストレスチェックを年1回実施している。社外の医療機関に相談窓口、社内にも労務相談窓口を設置し予防に努めています。 | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | | 【ダイバーシティ経営】<br>・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる | 基本 | | | 女性の活躍を促す研修会を実施しています。障がい者の活躍できる職場を事業所内に設置しその特性を生かした業務の推進を行っています。 | | | | | 5.1<br>5.5 | | | 8.5 | | 10.2<br>10.3 | | | | | | | |
| 8 | | 【人材育成】<br>・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している | 基本 | | | 各種の教育・研修制度を設け、キャリアプランに応じた研修体系を整備し、従業員の能力開発支援を行っています。また新たに人材開発課が発足しより充実した研修体系を整備しています。 | | | | 4 | 5.5 | | | 8 | 9 | | | | | | | | |
| 9 | | 【公正な待遇】<br>・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している | 基本 | | | 法令及び同一労働同一賃金の原則を遵守して、すべての従業者に対して、賃金規程、職層・人事等級規程により役割を明確化し、役割に応じた賃金設定を行い、公正な待遇を行っています。 | | | | | 5.5 | | | 8.5 | | 10.2<br>10.3 | | | | | | | |
| 10 | | 【健康経営】<br>・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる | チャレンジ | | | 従業員の健康の増進のため、本来は義務ではない検査(脳ドック)も、希望者の受診時に会社が補助金を支出しています。 | | | 3 | | | | | 8 | | | | | | | | | |
| 11 | 環境 | 【廃棄物】<br>・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる | 基本 | | | 廃棄物については原則リサイクル又はサーマルリサイクルの処分のみとし、完全な分別を行っています。 | | | | | | | | | | | 11.6 | 12.4 | | 14.1 | | | |
| 12 | | 【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】<br>・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している | 基本 | | | 全社においてエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握し、会社ホームページやCSR報告書で報告しています。 | | | | | | | 7.3 | | | | | | 13 | | | | |
| 13 | | 【省エネ・温暖化対策の計画・取組】<br>・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる | 基本 | | | 全社においてエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握し、製品をよりコンパクトに、より軽く設計することで原材料を低減し、製造プロセスにおける加工時間の短縮等を通じ、計画的に$CO_2$の削減に取り組んでいます。 | | | | | | | 7.2<br>7.3 | | | | | 12.4 | 13.3 | | | | |
| 14 | | 【有害化学物質】<br>・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる | 基本 | | | 法令により規制されている有害化学物質を把握し、適正に管理しています。 | | | 3.9 | | | 6.3 | | | | | 11.6 | 12.4 | | | | | |

| | カテゴリ | チェック項目 | 取組レベル | 【非該当】の場合選択入力 | 【予定】の場合選択入力 | 具体的な取組<br>（県などの取得認証があれば、併せて記載）<br>（【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載） | 主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 15 | 環境 | 【生物多様性】<br>・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している | 基本 | | | 環境負荷物質の使用削減と、排気･排水、廃棄物の適正処理の徹底に取り組み、ISO14001の審査を毎年受けています。 | | | | | | 6.6 | | | | | | | | | 15 | | |
| 16 | 環境 | 【３Ｒの推進】<br>・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる | 基本 | | | コピー用紙、パソコン、切削切粉、廃油、廃プラ、廃液などの3Rに取り組み、ほぼリサイクル、リユースを達成しています。 | | | | | | | | | | | | 12.5 | | 14.1 | | | |
| 17 | 環境 | 【水の管理】<br>・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる | チャレンジ | | | 水質分析を行い下水の流出を防ぐ対策を講じています。 | | | | | | 6.4<br>6.6 | | | | | | | | | | | |
| 18 | 環境 | 【環境マネジメントシステム】<br>・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している | チャレンジ | | | ISO14001を取得しています。 | | | 3.9 | | | 6 | 7 | | | | | 12 | 13.3 | 14 | 15 | | |
| 19 | 環境 | 【環境情報開示】<br>・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している | チャレンジ | | | CSR報告書などで毎年外部に公表しています。 | | | | | | | | | | | | 12.6 | | | | | |
| 20 | 環境 | 【再生可能エネルギーの利用】<br>・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる | チャレンジ | | | 太陽光パネルの設置を主要事業所で行っています。 | | | | | | | 7.2 | | | | | | 13 | | | | |
| 21 | 環境 | 【天然資源の持続的利用】<br>・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる | チャレンジ | | | エコカーの営業車両導入、環境に配慮した生産設備を導入しています。 | | | | | | | | | | | | 12.2 | 13 | 14 | 15 | | |
| 22 | 公正な事業慣行 | 【汚職・贈収賄防止】<br>・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している | 基本 | | | 「SMCグループ行動規範」の中で独占禁止法に違反する行為など、不公正な取引は行わないと明記しています。 | | | | | | | | | | | | | | | | 16<br>16.5 | |
| 23 | 公正な事業慣行 | 【公正な競争】<br>・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している | 基本 | | | 「SMCグループ行動規範」や運用マニュアルにより従業員へ公正な対応を義務付け、自由で公正な競争を行うことを宣言し、不正競争行為に関与することを禁じ、法規制の遵守を明記しています。 | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| 24 | 公正な事業慣行 | 【知的財産保護】<br>・知的財産の保護に取り組んでいる | 基本 | | | 「SMCグループ行動規範」において、知的財産･ブランドを守ることを宣言しています。 | | | | | | | | 8.2<br>8.3 | 9 | | | | | | | | |
| 25 | 公正な事業慣行 | 【個人情報保護】<br>・個人情報を適切に管理している | 基本 | | | 「個人情報管理規程」その他の社内規程を制定し、「個人情報管理規程」を制定のうえ、「個人情報保護対策に関するガイドラインにより、従業員への周知をはかり、個人情報の保護と適切な利用に取り組んでいます。 | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| 26 | 公正な事業慣行 | 【紛争鉱物】<br>・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している | チャレンジ | | | 当社納入業者との間で紛争鉱物不使用についての確認協定しています。 | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| 27 | 公正な事業慣行 | 【サプライチェーン管理】<br>・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる | チャレンジ | | | 仕入先各社と「取引基本契約書」を締結し、年に1度のサプライヤーへの説明会でパンフレットなどを配布し遵守していただくようにしています。 | | | | | 5 | | | 8 | | 10 | | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 28 | 公正な事業慣行 | 【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加)<br>・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している | 基本 | | | サプライチェーン全体の共存共栄を図るため、中小企業庁が提唱する「パートナーシップ構築宣言」を作成しております。 | | | 3 | | | | | 8 | 9 | 10 | | | | | | | 17 |

| | | チェック項目 | 取組レベル | 【非該当】の場合選択入力 | 【予定】の場合選択入力 | 具体的な取組<br>（県などの取得認証があれば、併せて記載）<br>（【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載） | 主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 29 | 製品・サービス | 【製品・サービスの安全性】<br>・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している | 基本 | | | 「SMCグループ行動規範」に製品の安全性に留意し、適切な対応を心掛ける旨を明記しています。<br>製品の取扱説明書に、安全上の注意に関する適切な表示を行っています。 | | | 3.9 | | | | | | | | | 12.4 | | | | | |
| 30 | 製品・サービス | 【品質保証】<br>・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している | 基本 | | | ISO9001を取得しています。 | | | | | | | | | 9 | | | | | | | | |
| 31 | 製品・サービス | 【環境配慮】<br>・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる | チャレンジ | | | 製造工程におけるCO2削減製品を開発し、標準化しています。 | | | | | | 6 | | | | | | 12 | 13 | 14 | 15 | | |
| 32 | 製品・サービス | 【社会課題解決】<br>・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる | チャレンジ | | | 環境に優しい製品の開発を推進し、製造工程におけるCO2削減、使用時のCO2削減製品を開発しています。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 33 | 社会貢献・地域貢献 | 【地域への配慮】<br>・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している | 基本 | | | 長野県内を事業基盤とし、地域のお客様に最新の技術、ソリューションを提供することでお客様の成長をサポートしています。 | | | | 4 | | | | | 9 | | 11 | 12 | | 14 | 15 | | 17 |
| 34 | 社会貢献・地域貢献 | 【社会貢献活動】<br>・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる | チャレンジ | | | 医療機関への寄付を継続的に行っている。SDGsの取り組みとして金銭の寄付以外にも地方公共団体へ防災用品の寄付も計画し拡大していく予定です。 | | | | 4 | | | | | | | 11 | | | 14 | 15 | | 17 |
| 35 | 社会貢献・地域貢献 | 【地域資源】<br>・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している | チャレンジ | | | ・再生可能エネ現在においては大規模事業所などの地域の特産品を記念品にするなどの対応を取っている。今後はSDGsの取り組みとして地産地消を拡大していくような施策を検討していきます。 | | | | | | | | 8 | 9 | | 11 | 12 | 13 | | | | |
| 36 | 組織体制 | 【内部管理体制】<br>・経営理念及び経営目標を社内で共有している | 基本 | | | 各事業所で各部署ごとに共有しています。 | | | | | | | | 8 | 9 | | | | | | | | 17 |
| 37 | 組織体制 | 【法令遵守】<br>・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している | 基本 | | | 「SMCグループ企業行動指針を制定し、内部統制による監査も定期的に実施しています。 | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| 38 | 組織体制 | 【組織体制】<br>・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している | 基本 | | | CSR委員会等の社会･環境問題に取組む委員会、プロジェクト及び担当部署を主に大規模事業所に設置し、社会･環境課題に対応する取組みを推進しています。<br>SDGsにおける活動については、推進プロジェクトを設置し取り組みを推進しています。 | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| 39 | 組織体制 | 【ステークホルダーとの対話】<br>・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体） | 基本 | | | コーポレートコミュニケーション室を設置し、株主･投資家をはじめとする各ステークホルダーに対して、適時適切な情報開示を実施しています。 | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | 17 |
| 40 | 組織体制 | 【リスクマネジメント】<br>・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している | チャレンジ | | | リスクの洗い出し、評価を行った上で、適切な対策を講じています。 | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| 41 | 組織体制 | 【社会的責任】<br>・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる | チャレンジ | | | 事務局管掌役員を任命し、各部門責任者が先頭に立って取り組みを推進していく体制を明確にし、責任を持った対応に取り組んでおります。 | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| 42 | 組織体制 | 【事業継続】<br>・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している | チャレンジ | | | 事業継続計画を立案し取り組んでおります。 | | | | | | | | | 9 | | 11 | | 13<br>13.1 | | | 16 | |
| 43 | 組織体制 | 【事業承継】<br>・事業承継に関する検討・対策を行っている | チャレンジ | | | 代表取締役社長の諮問機関として、当社及び主要子会社の社長をメンバーとする「アドバイザリー･コミッティ」を設置して、非常時におけるグループの業務執行に係る意思決定機能の代替が可能な体制の構築を図っております。 | | | | | | | | 8 | 9 | | | | | | | | 17 |

上記以外で設定した取組項目

| 独自に設定したSDGsに資する取組 | | 具体的な取組 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【記載留意事項】
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、ＮＡＧＡＮＯものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件２」は、ISO26000（※１）、RBA（Responsible Business Alliance）（※２）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、　間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
※１…組織の社会的責任に関する国際規格　　※２…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定